

# トラクターの農作業死亡事故が発生しています!!

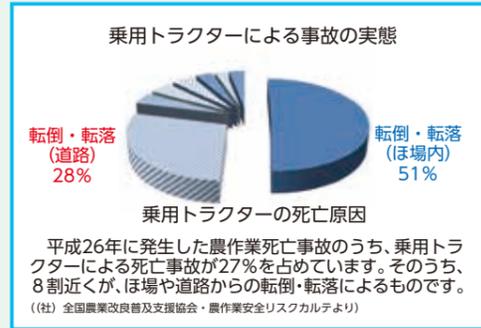
問 熊本県 農業技術課 ☎096・333・2380  
農林振興課 農業振興係 ☎0968・34・3111

農作業中の死亡事故が発生しています。

○トラクターで農作業中に隣接する畑に転落し、死亡

農作業が本格化し、農作業機械を使用する機会が増えています。

使用する際は、シートベルト・ヘルメットの着用や、走行中の転倒・転落、修理・点検時の事故などに十分に注意し、作業を行いましょう。



- ### 乗用トラクターの事故様態と安全対策
- 1 走行中の転落・転倒による事故 (33.8%)  
●狭い道路・農道・ほ場侵入退出路  
⇒安全フレーム・キャブの装備、ブレーキの連結ロック
  - 2 作業機の着脱、修理点検時の事故 (21.5%)  
●重い作業機・ユニバーサルジョイント  
⇒手順に沿った作業の順序、教育
  - 3 トラクターの降車・乗車時の事故 (13.8%)  
●滑りやすい昇降場所  
⇒昇降時の安定姿勢、滑らない履物
  - 4 接触や巻き込まれによる事故 (10.8%)  
●レバー類への予期せぬ接触  
⇒作業に適した服装

## トラクターの安全対策ポイント

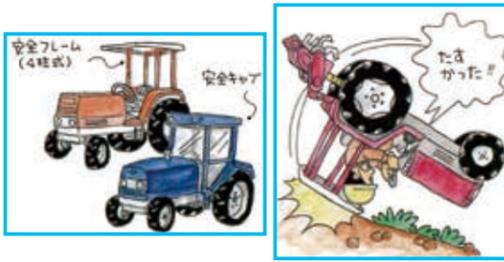
### ポイント1

- 安全キャブやフレーム付きのトラクターを使用しましょう。
- シートベルトやヘルメットを着用しましょう。



### ポイント2

- 道路は、車両に対して十分な道幅があるか、また、路肩が視認(路肩ポールなどを含む)できるかを事前にチェックしましょう。
- 草が繁茂する時期は、路肩が十分わかるように管理しましょう



### ポイント3

- 機械の点検・修理時には、必ずエンジンを切りましょう。



### ポイント4

- 衣服が運転席周りのレバー類に引っ掛からないよう、適切な服装を心がけましょう。また、転倒したときに最も大事な頭部を守る、ヘルメットを着用することも重要です。



# ～ 農作物の野生鳥獣被害にお困りの地域・集落のみなさんへ～ 地域ぐるみで「えづけSTOP! 対策」に取り組みましょう!

問 熊本県 むらづくり課 ☎096・333・2378  
農林振興課 林務係 ☎0968・34・3111

「えづけSTOP!」とは、農作物に被害を与えるイノシシやシカなどの野生動物に、無意識のうちに行ってしまう集落や田畑を使った「えづけ(餌付け)」を「やめる(STOP)」という考え方です。

この考え方を基本に、地域ぐるみで集落や田畑を見つめ直し、力を合わせて「えづけ」を止めるための対策「えづけSTOP! 対策」に取り組みしましょう。

## 「えづけSTOP! 対策」のポイント

「えづけSTOP! 対策」に取り組むうえで、誤った順序で取り組みを進めると、将来的に効果維持が難しくなる場合があるため、以下のステップで取り組むことが重要です。

### ステップ1：みんなで勉強

集落・地域の人々で、鳥獣や被害対策について学習したうえで、正しい知識に基づく対応や共通の問題意識を持つことが必要です。



### ステップ2：守れる田畑・集落づくり

「えづけSTOP!」の観点から、現在の集落・地域を見つめ直し、鳥獣が近寄りにくく住みにくい集落・地域に環境を変えていく必要があります。



### ステップ3：囲いや追い払い

集落・地域を野生鳥獣のエサ場としないため、防護柵の設置や、野生鳥獣にとって怖い場所と学習させるための追い払い活動に地域ぐるみで取り組む必要があります。

### ステップ4：有害鳥獣の捕獲

集落・地域に被害を与えている、集落近辺に住みついたイノシシやシカなどを対象として有害捕獲を行います。



- ☞ あなたの集落・地域は大丈夫？  
無意識に行われている「えづけ」の例
- 放置された稲刈り後の雑草や2番穂
  - 植えたまま未収穫の果樹
  - お墓のお供え物
  - 放置された竹林のタケノコ、野菜くずや収穫物 など

詳しくは、「これならできる! 鳥獣被害対策の手引き」をご覧ください(熊本県ホームページからダウンロードできます)。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/88/6015.html>